

研修目標と研修内容について

職種名「臨床検査技師レジデント(病理検査コース)」

1 概要

病理組織診断学・細胞診断学・病理解剖業務全般に関する基礎的・専門的技術の習得を目指し、がん医療に精通した臨床検査技師を養成する。また、臨床検査業務全般に必要な基本的知識として、臨床検査データの解釈や生理検査における画像データの解釈、細胞形態学に関する幅広いがん専門知識の習得を図る。

2 研修での到達目標

1) 一般目標

がん専門病院に求められる病理組織診断学・細胞診断学・病理解剖業務全般に関する基本的・専門的技術と知識の習得

2) 行動目標

- ・病理組織診断学・細胞診断学・病理解剖に関するがん専門知識・技能の習得
- ・検体検査における臨床検査データの解釈に関するがん専門知識の習得
- ・生理検査における画像データの解釈に関するがん専門知識の習得

3 実習内容

下記について、病理組織診断学・病理解剖に関すること1年、細胞診断学に関すること1年を目処に実習する。また、各部署での講義やカンファレンス、CPCにも参加し、がん専門病院における臨床検査技師に必要とされる基礎知識や臨床技術を習得する。

- a) がんに関する全般的な基礎知識の習得
- b) 病理組織検体の取り扱い方、および特殊染色・免疫染色・遺伝子検査の技術習得
- c) 細胞診検体の取り扱い方、および特殊染色・免疫染色・遺伝子検査の技術習得
- d) 細胞診断学におけるスクリーニング技術の習得
- e) 病理解剖に必要な基本的知識と技術の習得
- f) 個々のがん疾患における異常データの取り扱い、腫瘍マーカーの理解と解釈
- g) 生理検査における画像データの解釈に関する知識の習得（主に超音波検査など）
- h) カンファレンスやCPCへの参加による知識の習得